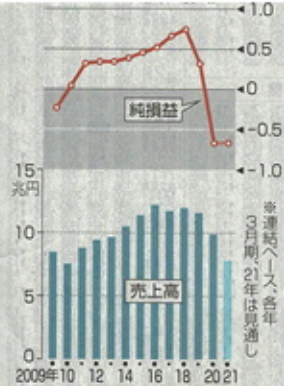




日産経営再建厳しい JR田浦会長 5Gスマホ安値続々

日産経営再建厳しく

21年3月期 6700億円赤字見通し



「再建に向けては、日産の復活に向けては、まず赤字を減らすことが第一だ。内田社長は、経営責任をしっかりと負って、再建に向けて取り組む」と述べた。

日産自動車の2021年3月期連結純損益は6700億円の赤字に落ち込む見通しとなった。過剰生産能力の解消に向け前期中に多額のリストラ費用を計上した。新車投入も減らされ、赤字は拡大する。経営再建の命運を握るのは今後計画する新車投入だ。ブランドの価値を取り戻せるか、時間との闘いとなる。

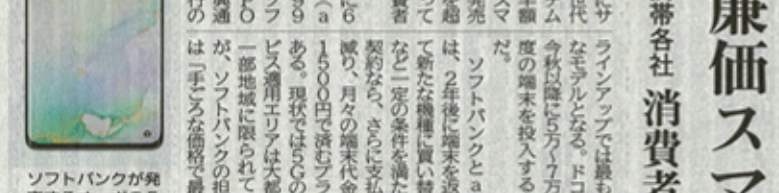
固定費削減追いつかず

ロゴ一新、新車投入への

このリストラに伴い固定費削減は追いつかず、2021年3月期は連結純損益が6700億円の赤字に落ち込む見通しとなった。今発表された21年3月期赤字見通しは、前回は6700億円の赤字に落ち込む見通しだった。固定費削減は追いつかず、2021年3月期は連結純損益が6700億円の赤字に落ち込む見通しとなった。

5G廉価スマホ続々

携帯各社 消費者にアピール



ソフトバンクが発売する5G対応スマホは、10万円以下で販売される。これは、これまで10万円以上で販売されていた5G対応スマホの価格を大幅に引き下げた。消費者へのアピールが目的と見られる。

総会に合わせた理事会で、現職の金野氏が次期総裁に再選された。元中国財政次官の金野氏が今後、中国の拡大を追求する方針を示している。

GoTo事業の開始日を発表

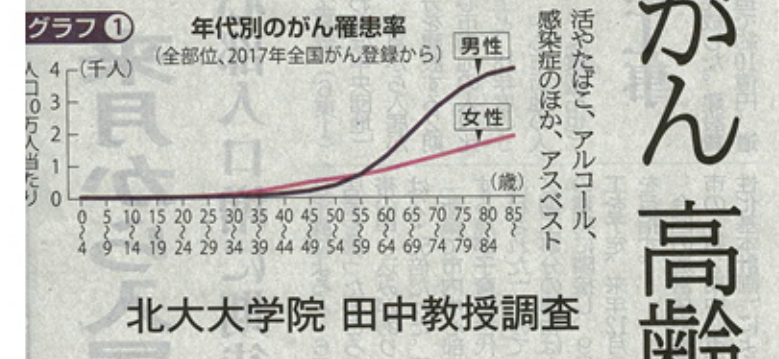
7月1日	政府が事業の開始日を発表
17日	東京の除外を発表
22日	事業開始、参加業者からの登録申請の受け付けスタート
27日	35%割引商品の販売開始
8月3日	事務開始立ち上げ
21日	登録申請の受け付け終了
9月以降	地域共通クーポンの配布開始

GoTo事業者 想定2割

開始1週間 登録数伸びず

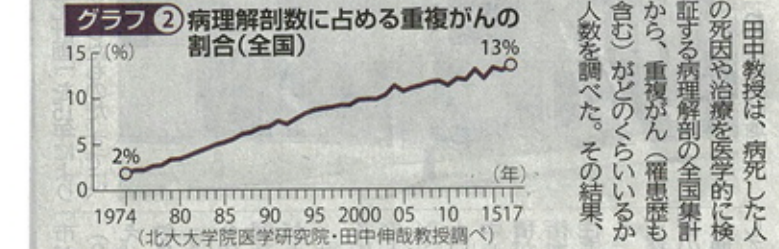
事業者の登録数は、開始1週間を過ぎても伸びず、想定していた2割に達していない。これは、事業者側の準備不足や、消費者側の認知不足が原因と見られる。

重複がん 高齢で増加

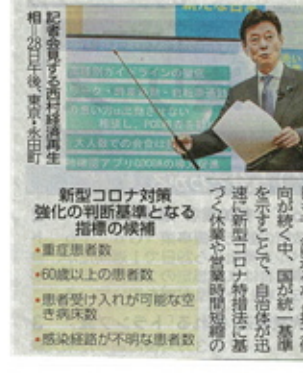


75~89歳 最も多く

がんは年を取るほどなりやすい。グラフ①は、人口10万人当たりのがん罹患率を示す。年代別のがん罹患率は、2017年だ。なぜ年を取るとがんになるのか。がんは細胞の中の遺伝子に傷がつき、これが積み重なって起きる。傷がつく要因には、外的なものや内的なものがある。前者は食生活や喫煙、放射線などが原因で、後者は遺伝的要因による。



重複がんが増加傾向にある。がんは年を取るほどなりやすい。グラフ②は、病理解剖数に占める重複がんの割合を示す。重複がんは、がんが治癒した後に再び発生するがんのこと。重複がんが増加しているのは、がんの生存率が向上していることが原因と見られる。



感染対策強化に指標

政府は、感染対策強化の指標として、重症患者数や空室病床数を示す。これは、感染対策の効果を測るための重要な指標となる。政府は、これらの指標に基づいて、感染対策の強化を促している。

航空2社赤字100億円超

4~6月期 コロナで旅客激減

ANAとJALの両社、4~6月期の連結赤字が100億円を超えた。これは、コロナウイルスの影響による旅客数の激減が原因と見られる。両社は、赤字の拡大を食い止めるための対策を講じている。



感染再燃 先行き見えず

ANAは1~3月期に四半期では過去最大となる580億円の営業損失を計上したが、4~6月期は92.5%減った。これは、感染再燃の先行きが見えず、旅客数の回復が鈍っていることが原因と見られる。

ANAは1~3月期に四半期では過去最大となる580億円の営業損失を計上したが、4~6月期は92.5%減った。これは、感染再燃の先行きが見えず、旅客数の回復が鈍っていることが原因と見られる。

ANAは1~3月期に四半期では過去最大となる580億円の営業損失を計上したが、4~6月期は92.5%減った。これは、感染再燃の先行きが見えず、旅客数の回復が鈍っていることが原因と見られる。

ANAは1~3月期に四半期では過去最大となる580億円の営業損失を計上したが、4~6月期は92.5%減った。これは、感染再燃の先行きが見えず、旅客数の回復が鈍っていることが原因と見られる。